

1. 配置・動線・外構計画

敷地計画・ランドスケープデザインの考え方

～四季の草花に囲まれた、安らぎのある田園公園～

- ・ 周辺は、良好な田園景観が保たれています。敷地周囲に土手を築き、植栽を行い、古くから残る杜のように地域に馴染むものを目指します。また周辺道路側に四季の草花を植えることで歩行者を楽しませます。
- ・ 周辺の田園風景、隣地に計画されるパークゴルフ場と一体的なランドスケープとし市民に親しまれ、安らぎのある田園公園を目指します。
- ・ 園内は射水市の木「トネリコ」花木「アジサイ」花「カワラナデシコ」、四季を感じられる花木で構成し、「記憶に残る故郷の景色」をテーマに射水らしい庭園とします。

施設配置計画

～敷地形状を活かし、光を多く取り入れることのできる分棟型～

- ・ 建物へのアプローチは、交通の便が良い東側市道に出入口を設けます。敷地内道路は、緩やかなカーブを描き、植栽とともに火葬場が道路から直接見えないようにします。
- ・ 敷地内排水路を挟んだ西側に、朝日の入る光のホールを持つお別れエリア、東側には立山の眺望が望める待合エリアを配置します。事務室は館内及び駐車場が見渡せる建物の中央に設けます。
- ・ 待合エリアに整備する庭園は、池を設け、風情豊かな庭園景観とします。
- ・ 駐車場は38台分、安全面に配慮し歩道を設け、歩車分離を図ります。車いす駐車場は雨に濡れないよう屋根を設置します。

